

西蒲区選挙区 選挙公報

《重要》

西蒲区にお住まいの方がこの候補者に投票できます。
西蒲区以外の方は、お住まいの区選挙公報をご覧ください。

●行政経験30年

行政のことがよく分かり、市役所・区役所に太いパイプがあります。市長と連携して物事を進めます。

●まちづくり活動18年

市民の立場で『綱車復活プロジェクト』など、地域の特色を活かしたまちづくりを進めています。



●田辺あらた市議会議員後継●無所属

土田ますみ

生活環境の充実、農業振興、観光交流振興、雇用の場の創出、子育て支援・教育・高齢者福祉の充実、区役所の権限強化・区役所の早期建て替え

皆さんのお役に立つ「即戦力」
として、一生懸命に働きます！

西蒲区再生!!

未来に夢や希望の持てる西蒲区——

西蒲区で生活するすべての人たちが、生きがいや夢、希望を持ち続けることが出来る社会をつくるために、市民目線を忘れずに、常に皆さんに寄り添い、若者、女性、お年寄り、すべての西蒲区市民の「こえ」を大切に、確実に「かたち」となるよう全力を尽くして取り組みます。

まだ遅くはありません。今からです。
西蒲区の再生に向け、皆さんと一緒に西蒲区の『未来予想図』を描き、叶えていきましょう。



プロフィール
新潟市西蒲区旗屋(旧西川町)生まれ 51歳
新潟大学 経済学部卒業
西川商工会長
巻信用組合理事
介護老人保健施設 監事

八百板

やおいた

いさお

51歳

若き力で地域に活力を!!

海に山、そして美しい田園の広がる西蒲区を誰もが暮らしやすく、豊かな地域にしていきたい!!

- 子育て・教育環境の整備
- 農商工・観光業の活性化
- 福祉・コミュニティの強化
- 伝統・文化を次世代に
- 原発再稼働に反対

編集者としての経験を活かし、地域をくまなく歩き、市民の声に耳を傾け、市政との架け橋になります!!

プロフィール
1983(昭和58)年1月30日生まれ。家族=妻、小学生と保育園の子ども2人。和納小学校・岩室中学校・燕高等学校・東京国際大学国際関係学部卒業。
2005年、新潟日報販売株式会社入社
2008年、独学にて地域インタビュー誌「Life-mag.」を創刊
現在までに10巻を発行。近年は西蒲地域を精力的に取材
2016~2019年1月まで新潟日報「おとなプラス」に執筆
2016年から新潟大学人文学部非常勤講師を務める



無所属・新人
小林
ひろき 36

地域で行動、議会で発言

議席をお預かりして以来、この4年間、歩きたがら皆様のご要望をお聞きしてきました。
ご要望の多くは、議会の内外で発言したり活動することで解決したことが多くありました。
皆様の声をこれからも新潟市行政に反映させるべく活動します。



竹内いさお

竹内いさおの『主張』

- ゆきとどいた教育の実現につとめます
- 豊かで美しい自然と文化・スポーツの西蒲区を
- 福祉・住民生活の問題解決につとめます
- 憲法9条を守ります
- 脱原発運動をすすめます
- 柏崎刈羽 6,7号機の再稼働に反対し、行動します

子育てが第一です。 支える人あつての医療、福祉、農工商業です。

現状の西蒲区	理想の西蒲区
子供が減る 人口が減る	子供が増える 人口が増える
商店も学校も病院もなくなる	商店も学校も病院も増える
職場が減る 税収が減る	職場が増える 税収が増える
事業の廃止	施設・事業の充実
住みにくく、ますます人口が減る	住みやすく、人口が増える
西蒲区の消滅	西蒲区の存続

「病児保育を作ります。」
「塾や習い事に頼らない学校を作ります。」

私以外の候補者不参加のため西蒲区では公開討論会が中止になりました。恥ずかしいことです。公の場で政策の議論をし、住民の合意を得て、政治を行う機会が失われました。候補者も政策も密室で決定され、住民はその過程に参加できません。これでは特定の支援者のためだけの政治が行われます。西蒲区が衰退する原因がここにあります。政治への無関心で得をするのは政治家とその取り巻きだけです。

私は政治を住民に取り戻します。



こした
幸田
けんた
健太

市民目線で、一人の声も大切に!
3期の経験と実績から



笑顔ある
西蒲区に!



市議会議員
候補者
[無所属]

水沢ひとし

守ります! 西蒲区の未来と子どもたち

- 安心して子育て・教育ができる制度・環境整備
 - 原発再稼働反対
 - 企業誘致と雇用確保
 - 農業の担い手育成・基盤整備推進
 - 観光と農業連携
 - 商店街の再生・活性化
- 安心・安全なまちづくりを目指します ——